

中山道ガイドマップ

中津川宿より大井宿、大湫宿まで

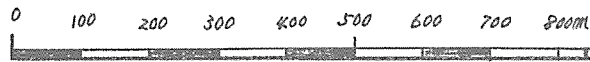
中津川宿



大井宿

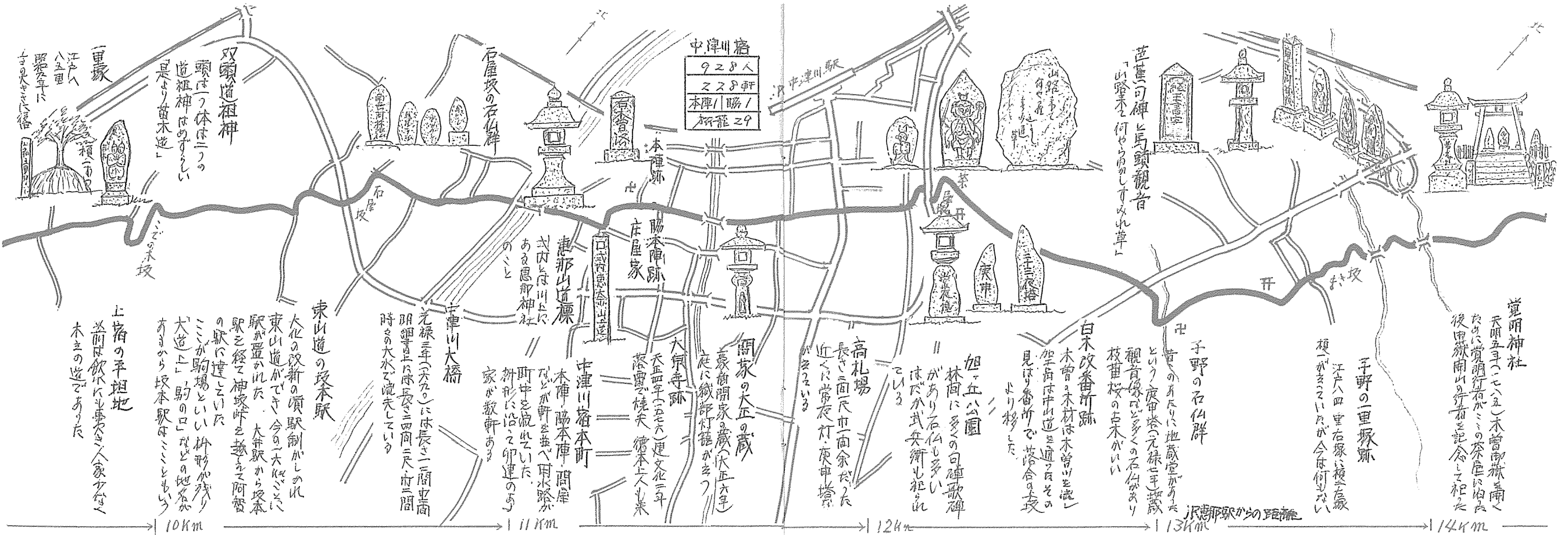


大湫宿



編集・発行／恵那市役所 生涯学習課
〒509-7292 岐阜県恵那市長島町正家一丁目1番地1
TEL 0573-26-2111

平成29年3月発行



覚明神社
 天明五年(一七八五)木曾御嶽南へ
 来たに覚明行有かみの茶屋に内
 後御嶽南山の行有を記念して祀る

千野の二里塚
 江戸八四里右塚に複石左塚
 複石がまごころが今は何もない

子野の石仏群
 首の肩取りに地藏堂があった
 という夜甲塔(元禄三年)蔵
 観音像はどの多くの石仏があり
 枝垂桜の古木がいい

白木改番所跡
 木曾。木材は木曾川を流し
 笠岳は中山道を通り白木の
 見はり番所で笠岳合の夜
 より移した

旭ヶ丘公園
 林向に多くの日禱歌碑
 があり石仏も多い
 はだか式安禰神社に
 近い

高札場
 長さ二面一亩余だ
 近くに常夜灯(夜申塔)が
 多い

間家の大正の蔵
 豪商間家の蔵(大正六年)
 庭に織物灯籠がまごころ
 大氣寺跡
 天正四年(一五六)建文化三年
 落雷で焼失 徳本上人も来

中津川宿本町
 本陣、脇本陣、問屋
 町中を流れていた
 新形にはこの卯連のあ
 家が数軒あり

中津川大橋
 元禄三年(一六九〇)には長さ二間中商
 明細書には長さ三四間三丈二間
 時の大水で流失している

東山道の段本駅
 大化の改新の頃駅制がしり
 東山道ができ、今の「大坂」に
 駅が置かれた。大井駅から段本
 駅を経て神塚峠を越えて阿智
 の駅に達していた
 ここが駒場といい杉形が残り
 「大道上」駒の口などの地名が
 あるから段本駅はここにもい

上宿の平坦地
 昔前は飲水にも事欠く人家がな
 木立の道であった

中津川宿
 928人
 228軒
 本陣/脇/
 問屋29

双頭道祖神
 頭は一つ体は二つの
 道祖神はのすらしい
 「是より苗木道」

一里塚
 江戸八
 八五里
 昭和三
 十の火を
 下宿

石屋坂の石仏群

本陣跡
 脇本陣跡
 庄屋家

恵那山道標
 式内とは川上に
 ある恵那神社
 のヒト

問屋跡
 大氣寺跡

高札場

旭ヶ丘公園

白木改番所跡

子野の石仏群

千野の二里塚

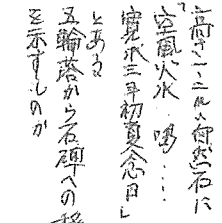
覚明神社

10km 11km 12km 13km 14km



山石塚之揚跡
山石塚の北側に茶屋が有り
井戸も残っていた

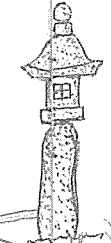
嵐瀬の碑
正徳二年(1711)御祭石に
空嵐火水 鳴……
備忘(三月初夏念日)
とあり
五輪塔が石塚への移行
を示すのか



山石塚(悪し塚)
昔城の迹に取られ此に昔者がいた
若者(村)の相悪と衝突し、この地
に住み花村人は徳を徳んご塚
を築いた。根拠後を述べてこの地に
来り「若し人の塚」「悪し塚」と
哀しんだという

坂本神社(幡宮)
本堂(三ノ七)九棟の宇佐
八幡宮より勧請したといふ
願成三年(三三三)の木の神像
など三休あり市の文化財

武蔵坂本神社



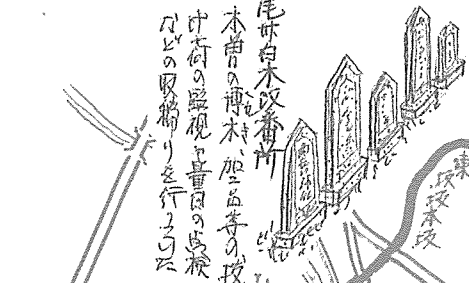
新田園道の道標
旧道と上は下は
の二と並置山
の次がよい

中平神明神社

将監塚
ショウアン塚といふが
江戸時代初期の
美濃園の代官
であった田田
将監の墓だ
といふ

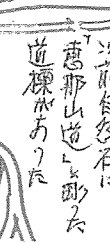
近江
将監乗馬塚
岡田(塚)
あり

尾林白木改番所
本所の白木、座する寺の
中平の監視を目的に長
江の取替所を行つた



会所沢坂と牛水洞坂
以前は道の両側に樹木
が立ち上っていた

惠那山への道標
以前自然石に
「惠那山道」と彫つた
道標があった



石幢と石号塔
明暦三年(1657)
に建てた。大地蔵が
彫り出している
石号塔は
白水六年(1660)
ごろに造り
たといは
この南側に
八幡林寺の
元屋敷だといふ



千旦村高札場跡
幕府の定(高札、割札)
がのりつりミの付近
と札の辻といふ

大坂川の石仏
馬頭観音(文化三年)
深敷菩薩(天保七年)



中原の秋葉灯籠
悲愴の塔が望見山
が見える
原おこ、かうゆ松
悪那山が見え
付近の家味昔
馬籠であった



弘法さまの石仏群
形がいい馬頭観音
一両京の石仏と云はれる

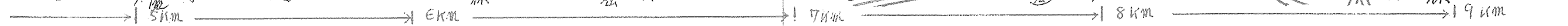
三陣屋宿跡
江戸へ八六里
南横 北木町し

坂本立揚跡
山側に馬の飲み水用の池があった
ここにあった某家の家敷跡も
その真ん中の池も今残らない

薬師堂
昔ながらの付近(長途通寺といふ)大寺
が建てられたと伝えている
某師堂内に長途通寺の木も因縁
大正時代の木像があったといふ
徳本の名号塔が立つ



茄子山村高札場跡
江戸時代は村に高札場
があった



。茄子川三馬場本陣
南川林本陣らしい
酒造業(あり原)
三馬場代(庄屋)
勤めていた
和宮、明治天皇の
小休さし表門も
都屋も残されている

。五百羅漢への道
五百羅漢は寛政
二年(一七九〇)雨
焚養生とい
三〇八人体を石像が並ぶ

。唐平の合戦
唐平合いた
藤井氏は苗木矢
と戦った

。馬頭観音 大正四年まで願
願が三子が大木の座像

。富貴蘭神社
茶神は木花咲野
茶礼は八月三日
七神馬蔵(三奉納)

。杉の井戸
大杉のそばにあり
旅人がお水をうけおした

。庚申塔
六、七の庚申の日
にはが来る

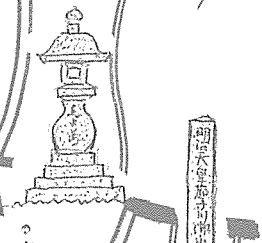
。お膳田
昔は馬が
獲いて種敷
も食べました
この田の叔を
種にした

。関戸の重塚
江戸日本橋まで
八〇里の馬車道

。恵那峡八十八番札所
八十八番札所の
三休をセプトに恵那峡
まじり固に八十八休を
昭和三年よりまじり固

。大井宿
466軒
110軒
木種 / 町本 /
板橋 / 大井 / 軒

。いし屋資料館
大井村代々庄屋
土山家
資料館に
したものを
文庫のま
町屋建築
の中に
のなか
当家や
中井本井宿
棟梁資料が
展示して



。常夜灯兼道標
安永三年(一七九二)にまじり
南行の道は岩村を越えて遠可
秋葉山へ行く



。石拾い茶屋跡
このあたりは松並木が繞っていた
江戸時代の陶磁器の生産をい
成瀬誠志(作)はすばらしい



。茶屋跡(馬宿)
旅人八八は運山の男と
この茶屋に
途中の山でまじり持
初いつさいまじりわかれた



。社宮司と金神さま
金神は實神のことか？



。未代灯兼道標
山よりすく
秋葉山とあり



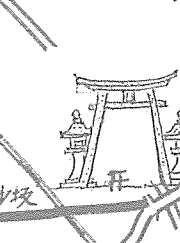
。因瀬沢観音堂と石仏
聖観音 松尾大幹子交観音まじり
組言は観音とあり



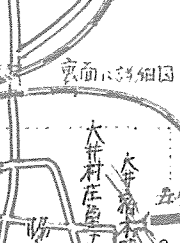
。甚平塚の山屋印塔大塚馬塚
鎌倉時代根津甚平
頼朝の命により信州根津を
にはむ化け鳥を遣いこの塚に
馬も大しかりかたえたとい



。旅人の墓
大十余の墓があり南は九井
北は秋田界の人の墓がまじり



。長石塔
長国寺の塔が天下を平
折を知してまじりとい

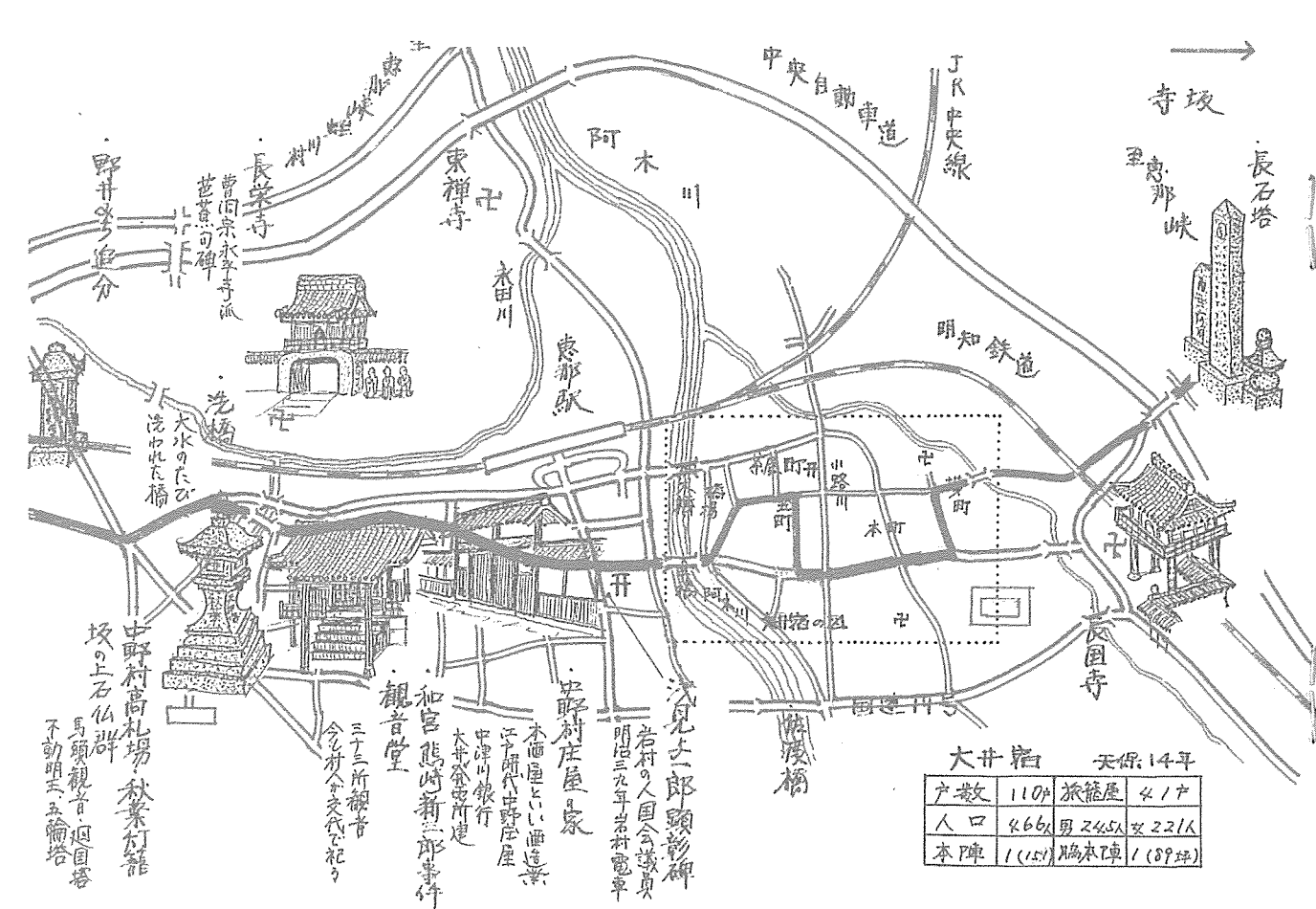


。菅原神社
慶長の頃(一五九六)に建て
たといは関・前光 木教豊根



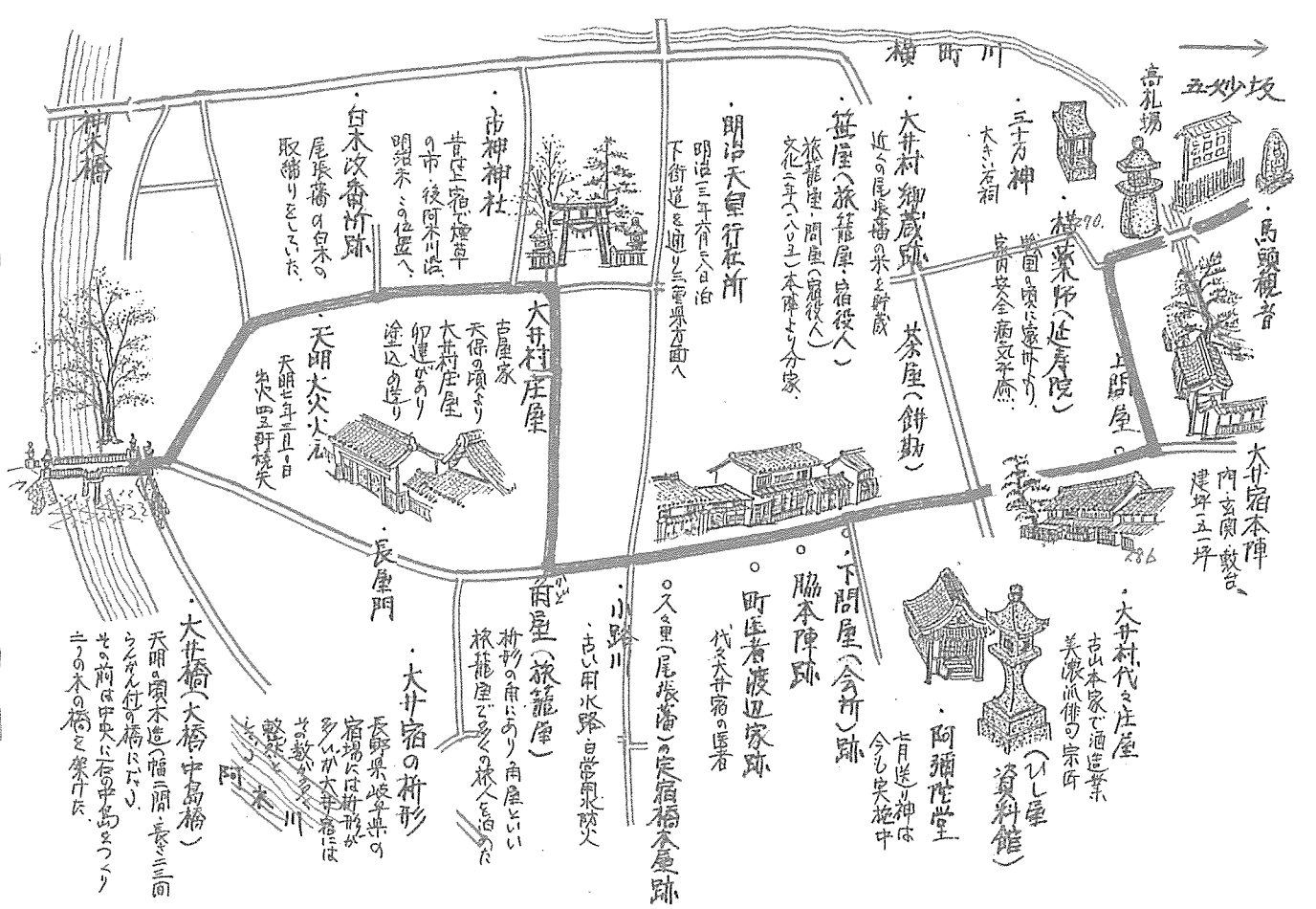
。長国寺
西行の根津甚平の
位牌がある
中山道広重美術館
江戸時代・最
広重の浮世絵
五作とした
極高美術館
高い美術館

JR恵那馬場より 1km 2km 3km 4km



大井宿 天保14年

戸数	110戸	旅籠屋	41戸
人口	466人	男	245人
		女	221人
本陣	1(15)	脇本陣	1(89坪)



大井橋(大橋中島橋)
 天明・頼木造福三間長三間
 シンガレ竹橋(177)
 その前は中央に石中島あつくり
 二の木の橋を架けた

大井宿の枡形
 長野果敢寺典の
 宿場には枡形が
 多いが大井宿は
 少ない
 大井宿
 大井宿

南屋(旅籠屋)
 枡形の南にあり、角屋といひ
 旅籠屋で多くの旅人を泊めた

町医者渡辺家跡
 代々大井宿の医者

下問屋(会所)跡
 脇本陣跡

阿彌陀堂
 七月送神は
 今も実施中

大井村代々庄屋
 古山本家で酒造業
 美濃派俳句宗匠

北

七本松坂 西行坂

旗が根坂

みだ水坂

うみ木根坂

観音堂

西行視水

西行さんんは歌を詠み、泉の水を飲むと有り留まらぬ

神明神社

西行茶屋

茶屋で西行さんの絵巻文を賣っていた

旗が根の陣地

岩村藩は陣地を築き、天狗堂と戦おうとした

西行塚

西行さん你晩年東大寺勸進の旅に出興味が有り信州を経てこの地へ来た。せと野井の松林庵・東野の竹林庵・水甲の梅路庵に住み多くの歌を残し三年後に亡なり長閑寺で菩提を成行いながら西行塚に葬られたといふ

西行の森桜百選の園

西行さんの習字「種類一三の本を市長が植えた

旗が根里塚

江戸へ八里京都へ四六里
右に左も塚の上に松
右左が、のほど位置が
おいてい

七本松原

ここに七本の松の本木が残っていた

旗の大木

昔旗の大木があり地名となつた

旗が根墓地

ここに九戸ほどの茶屋がありそれ繁盛していた
その人達の墓地である

旗が根追分

中山道(正街道としよう)に分れて各屋
伊勢へ行く下街道があり大木が道標
が立ち、伊勢屋・中野屋の二つの茶
屋があり伊勢神宮迄押付があった

馬頭観音

大井岩と大湫宿の馬役が祀つた

姫中殿跡

見はらしがま行列の休み場に
なり和宮下向のときはうかし御所の
御殿が建てられたといふ

乱れ橋

飛脚連中の架けた橋で
通行料として馬二頭二文

石州さま

石州(今の島根県)
石見国銀山入
がここぞと
なり暮つた

三十三所観音

殿様街道

野井を通り岩村へ行く道
殿様も通り明治四年には
石州屋敷まで敷も通つた

竹折村高札場跡

下座切場

村役人は袴を着て
土下座して迎えた

子持松跡

松が多い
松の大木があった

首なし地蔵

首の無い
地蔵さまか
と云う

井神明神社

水戸屋茶屋跡

井水戸屋茶屋跡

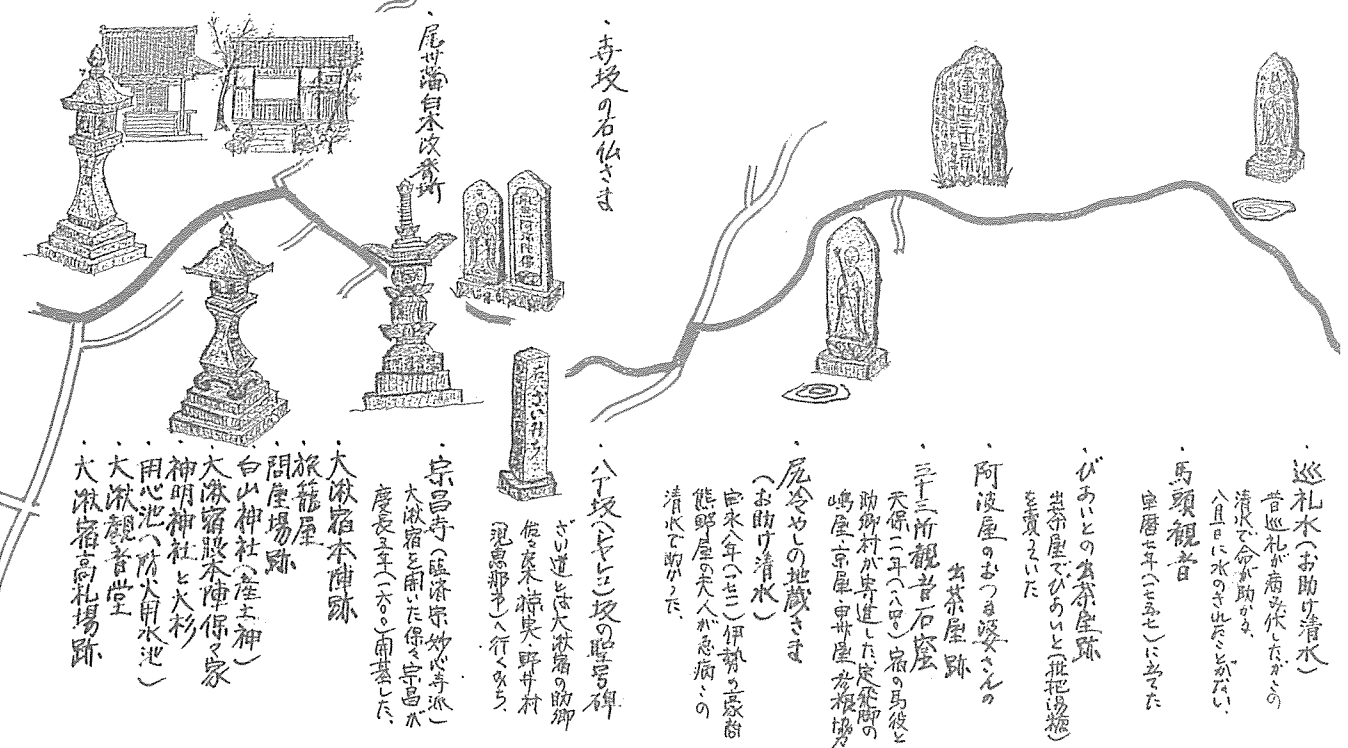
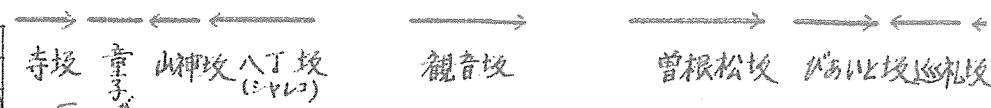
東園屋茶屋跡

松木屋茶屋跡

旅の記録

大湫宿 天保14年

戸数	66戸	旅籠屋	30軒
人口	338人	男	170人 女168人
本陣	1(182坪)	旅籠本陣	1(198坪)



尾藩自末改新

寺坂の石仏さま

- 巡礼水(お助け清水)
昔巡礼が病を治したから、清水で命が助かる。八月日に水のきかぬとぬがい。
- 馬頭観音
宝暦七年(一七五七)に建てた。
- びあいとの茶屋跡
当茶屋でびあいと(根把湯屋)を賣っていた。
- 阿波屋のおつぎ汲さん
出茶屋跡
- 三十三所観音石窟
天保二年(一八一四)宿の馬後と助郷村が寄進した。度笠御の鳴屋・宗屋・申舟屋・松根場。
- 尾冷めしの地蔵さま
(お助け清水)
寛永八年(一七三二)伊勢の豪商熊野屋の主人が急病の清水で助かた。
- 八丁坂(シヤレ)坂の腰石
ざり道とは大湫宿の助郷佐々木・持良野村・尾高那中へ行くがら。
- 宗昌寺(陸奥宗妙の寺派)
大湫宿を雨に降った保々宗昌が慶長三年(一六二二)雨甚した。
- 大湫宿本陣跡
- 旅籠屋跡
- 白山神社(産土神)
- 大湫宿観音堂
- 神明神社と大杉
- 用心池(防大用水池)
- 大湫観音堂
- 大湫宿高札場跡